

移住者同士の交流は？

保坂さん：移住者同士の交流はないのですが、自分は移住者がいかに地元にとけこめるかが重要だと思っています。子どもも学校行事や地区の集まりに参加して、地域の人たちとの交流ができています。移住者が地域に溶け込めるようなコミュニティがあると思います。

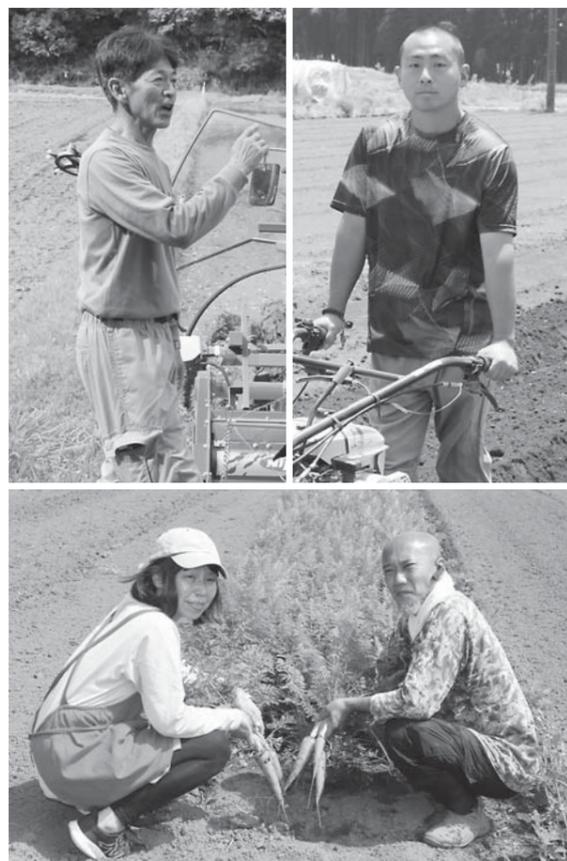


香取市でも若い世代の農業離れが進んでいるので、

移住して農業をやってくれることは大変ありがたいことだと思います。

保坂さん：自分も高齢化については危機感がある、20年後はどうなるんだろうと。農業がやりたくて移住して来ても、何年も管理されていない土地しか耕作できる場所がないのでは、新規就農者にはどうすることもできないですね。
林さん：ふるさと納税の返礼品として品物に体験をセットして、例えば休耕地の開墾をし

てみませんか？のような。実際に体験した方を引き込めるような仕組みを作れば、先々就農に繋がれるかもしれない。
そうすれば休耕地も改善するし、農業をやってみようかなと思う人が出てくるかもしれない。とにかく人が回らないと続かないのではないかと思います。



皆さんのように移住して来てくれる方は貴重です。更に次の世代が来れるような環境を整えるために行政側が取り組む必要があります。

地域の農業は、移住者にとって新たな挑戦と成長の場であり続けています。移住者の皆さんの経験やアイデアが、香取市の未来をさらに豊かなものにしていくでしょう。市議会では、この声を市政へ反映させることを目指し、引き続き活動していきます。



議場探検ツアーへようこそ！ 小学生が議場見学に訪れました。

5月13日に山田小学校の3年生33名、5月29日には新島小学校の3年生18名が校外学習の一環として本会議場の見学に訪れました。議場では議員席に座り議場の雰囲気を経験しながら市議会について学びました。

